



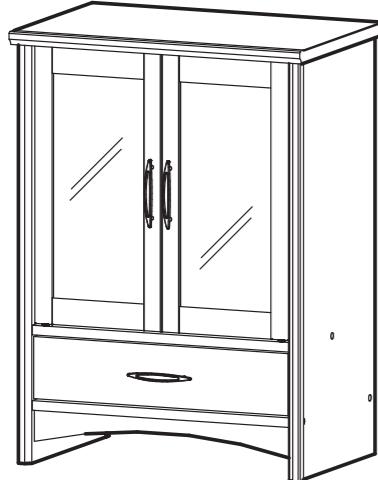
Model Name.

キャビネット

Model No.

GRC-8060CA

完成図

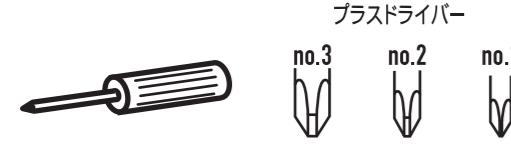


組み立てる時の注意点

- a) 本体を組み立てる時、ハンマーは直接たたかないで
当て木又は厚手の古雑誌などをあててたたいてください。
- b) 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- c) この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- d) 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」においても
必ずお読みになって、捨てずに保管してください。
- e) 接着剤塗布を指定してある箇所には、確実に必ず接着剤を塗布
してください。尚、固まるまでの2時間程度は、家具を動かさないで
ください。



組み立ての必需品

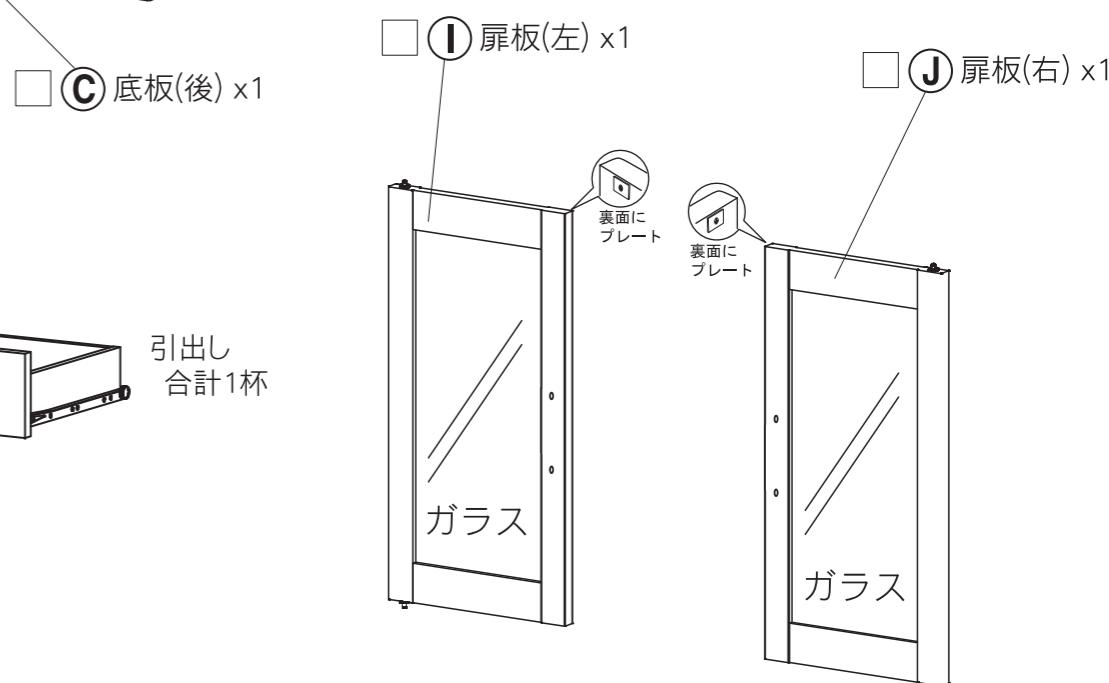
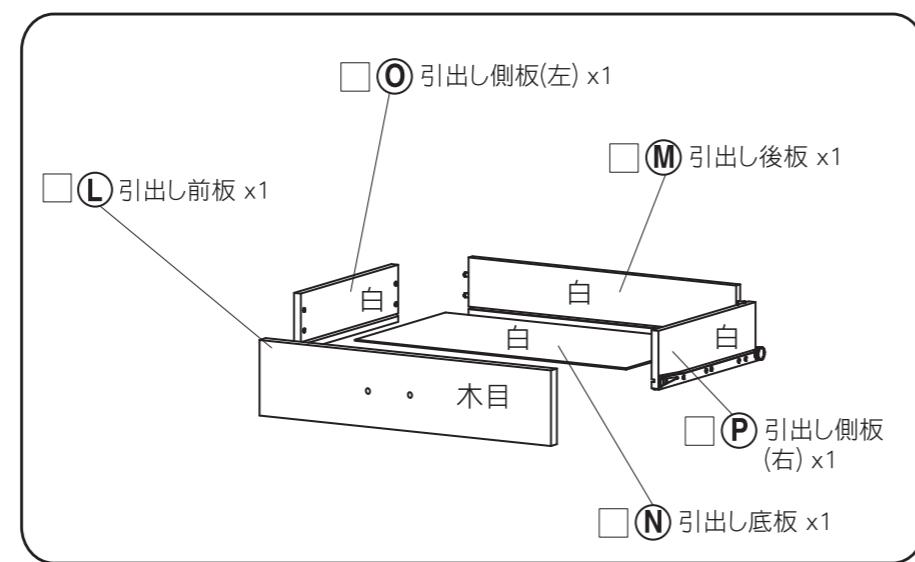
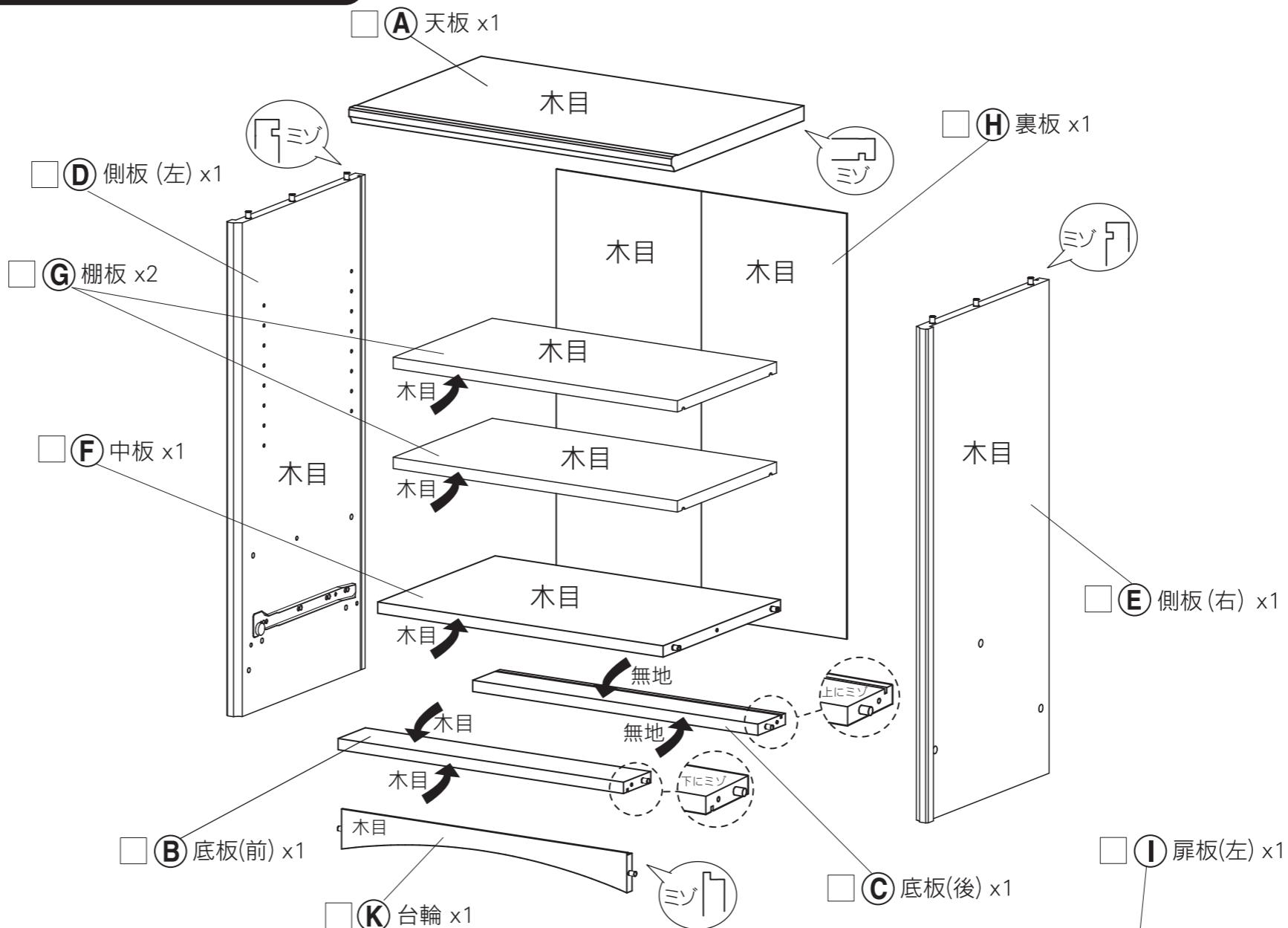


※ no.2 のドライバーを準備してください。



ハンマー

●まずは部品をチェック しましょう。

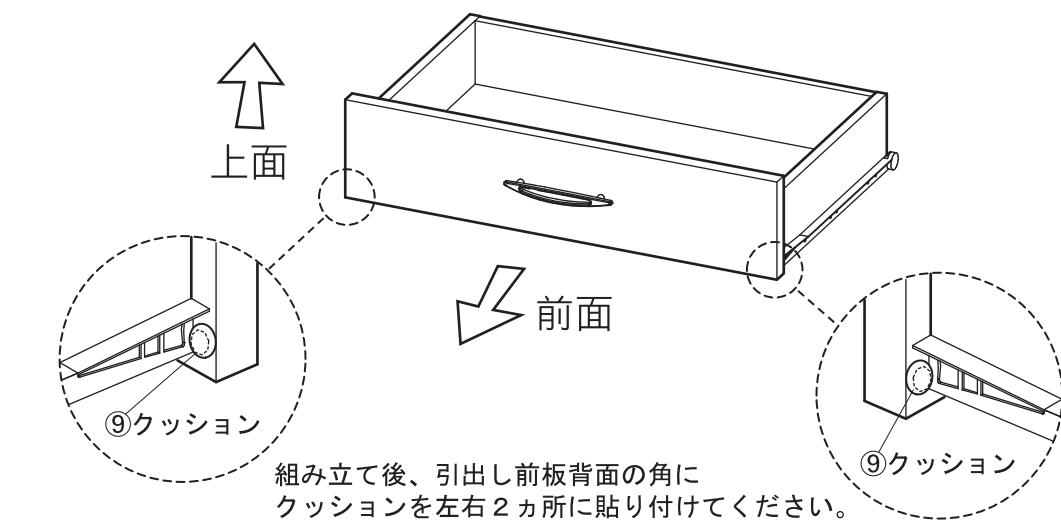
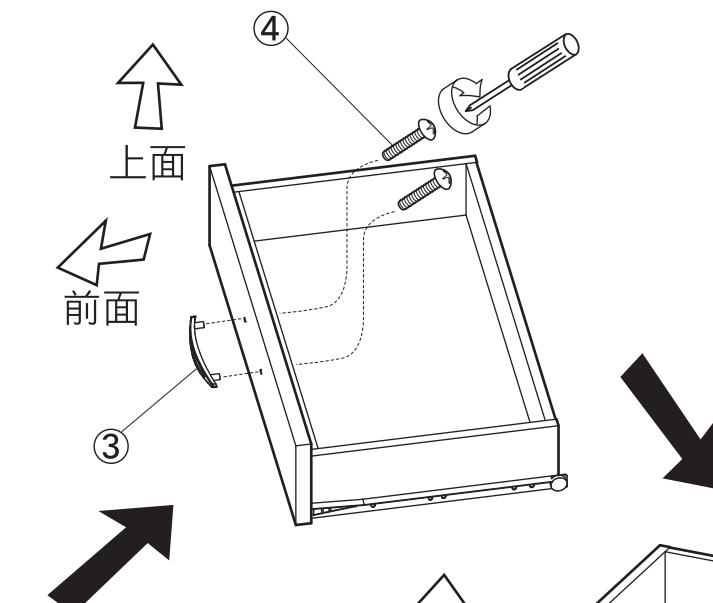
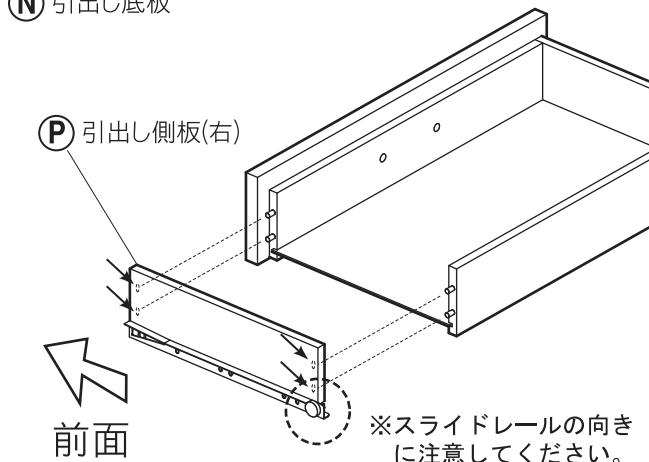
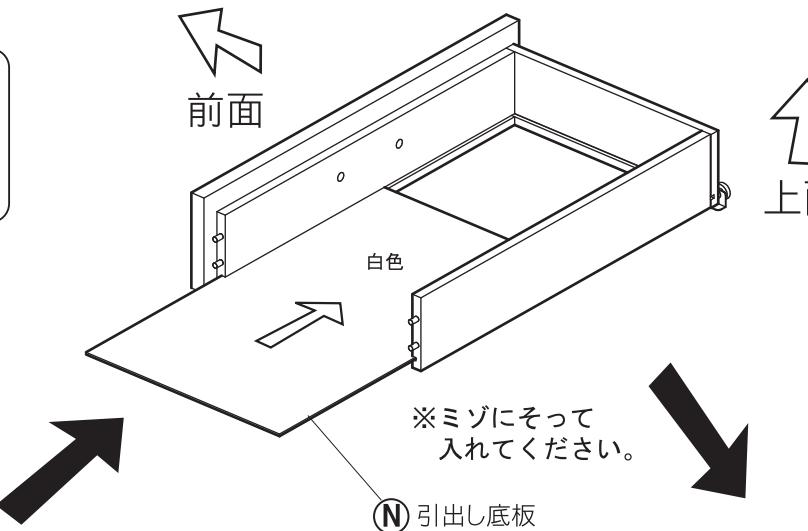
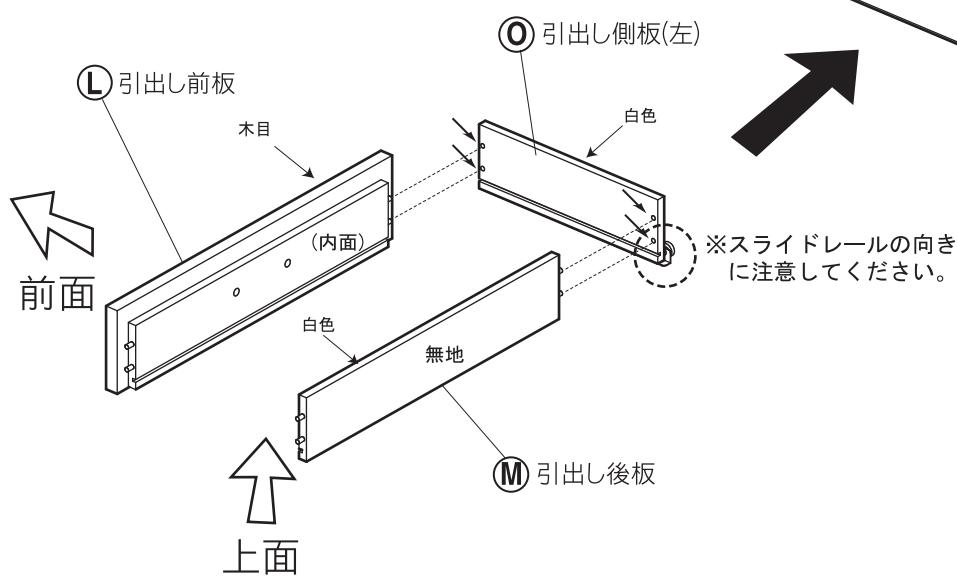


部品

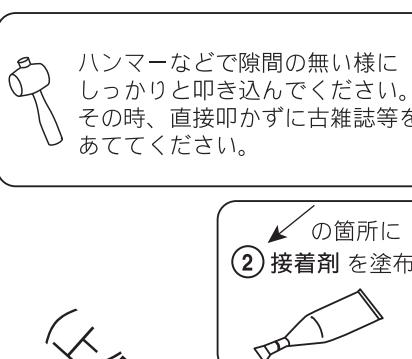
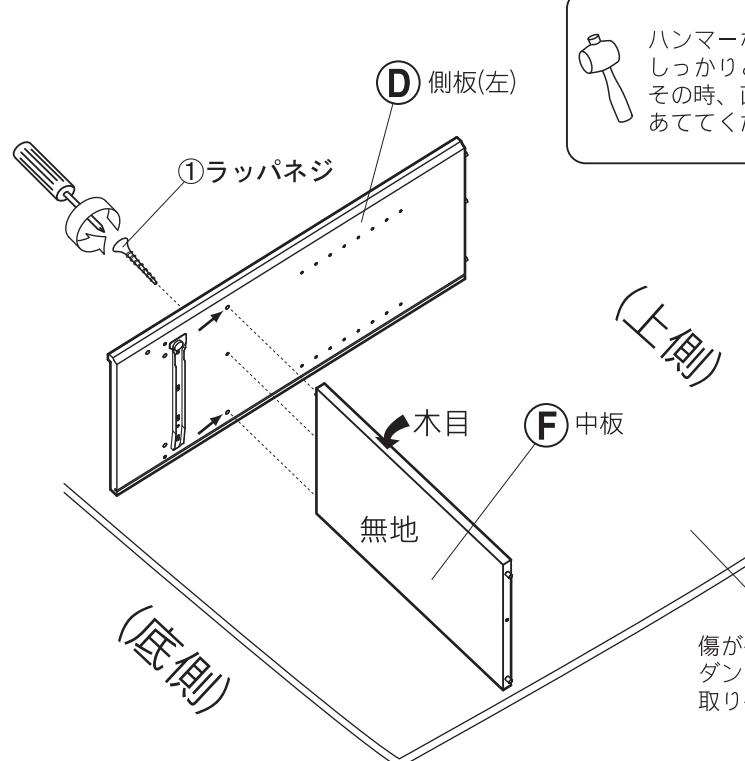
<input type="checkbox"/> ①	ラッパネジ	6
<input type="checkbox"/> ②	接着剤	1
<input type="checkbox"/> ③	ハンドル	3
<input type="checkbox"/> ④	ハンドル用 ネジ	6
<input type="checkbox"/> ⑤	棚ピン	8
<input type="checkbox"/> ⑥	裏板 ストップバー	6
<input type="checkbox"/> ⑦	裏板ストップバー用 ネジ	6
<input type="checkbox"/> ⑧	ネジ隠し シール	6
<input type="checkbox"/> ⑨	クッション	2



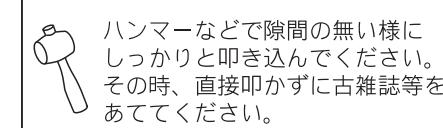
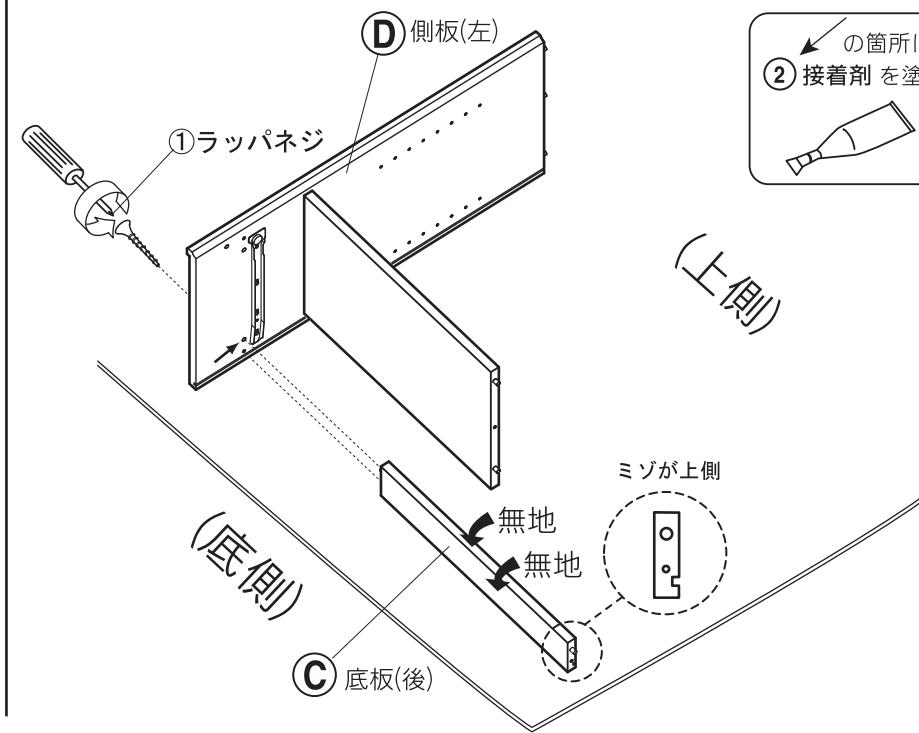
1 引出しの組み立て



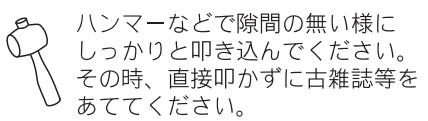
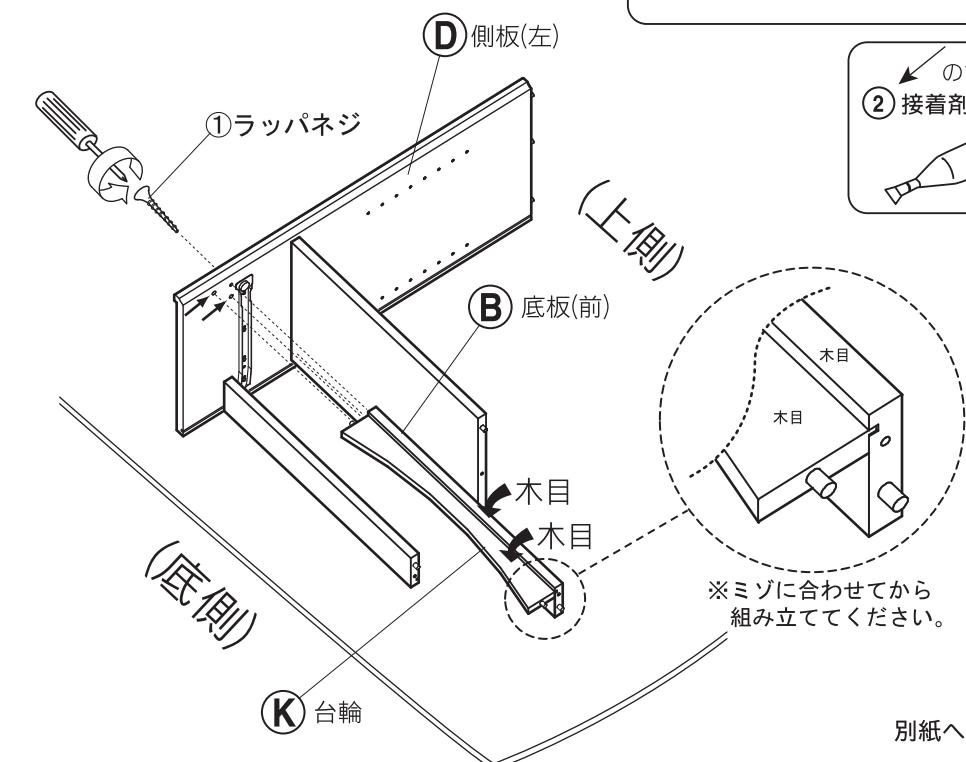
2 側板(左)と中板の組み立て



3 底板(後)の組み立て

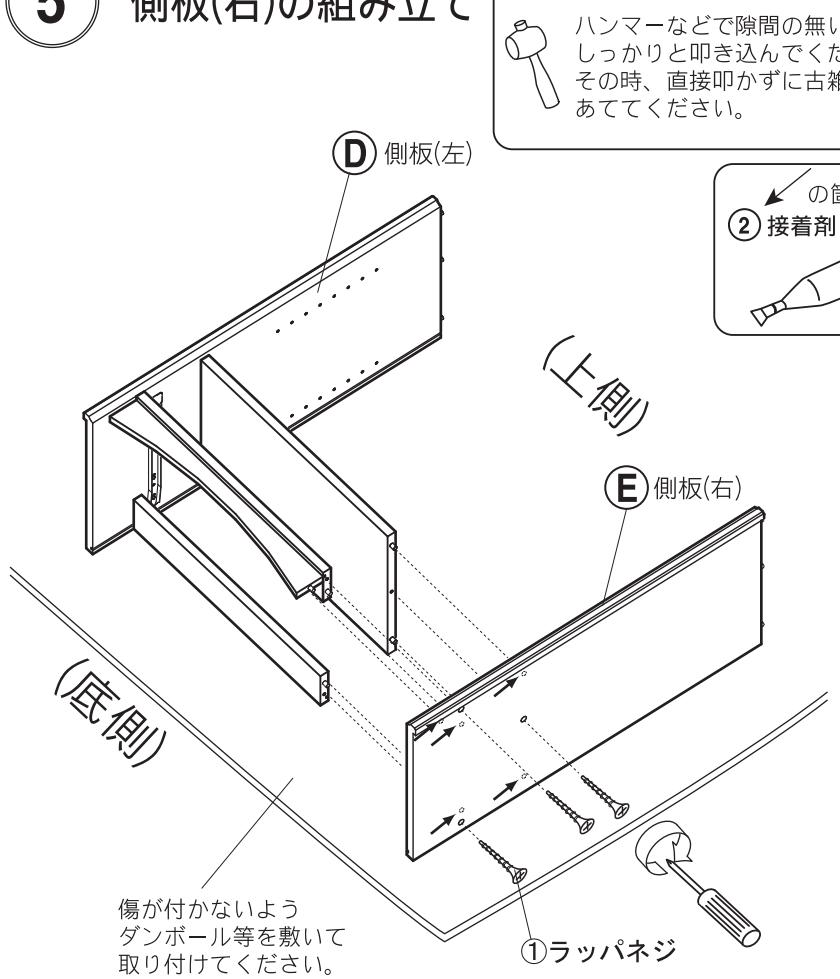


4 底板(前)と台輪の組み立て

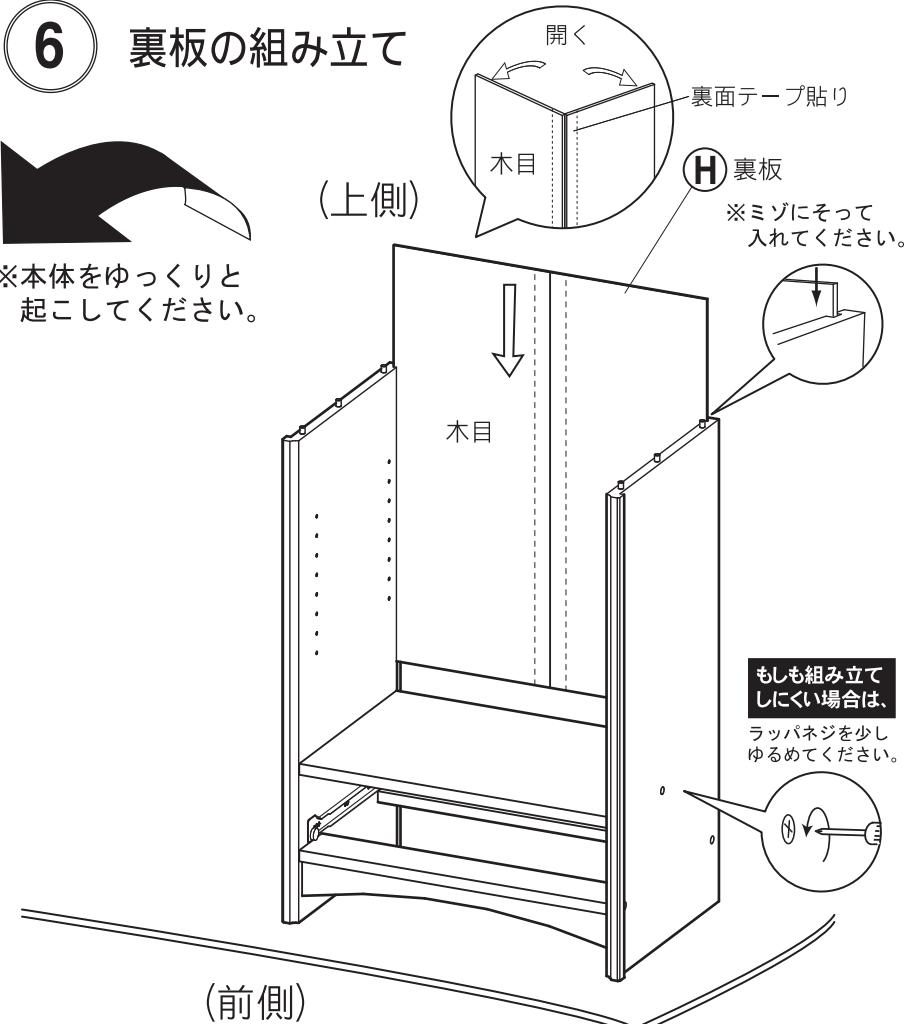




5 側板(右)の組み立て



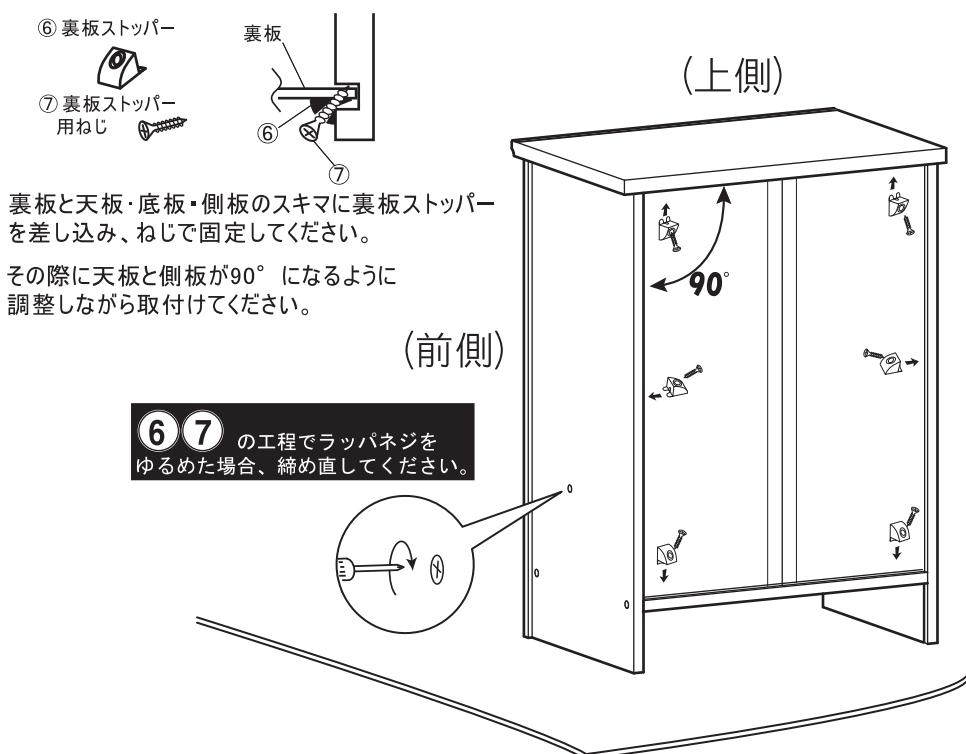
6 裏板の組み立て



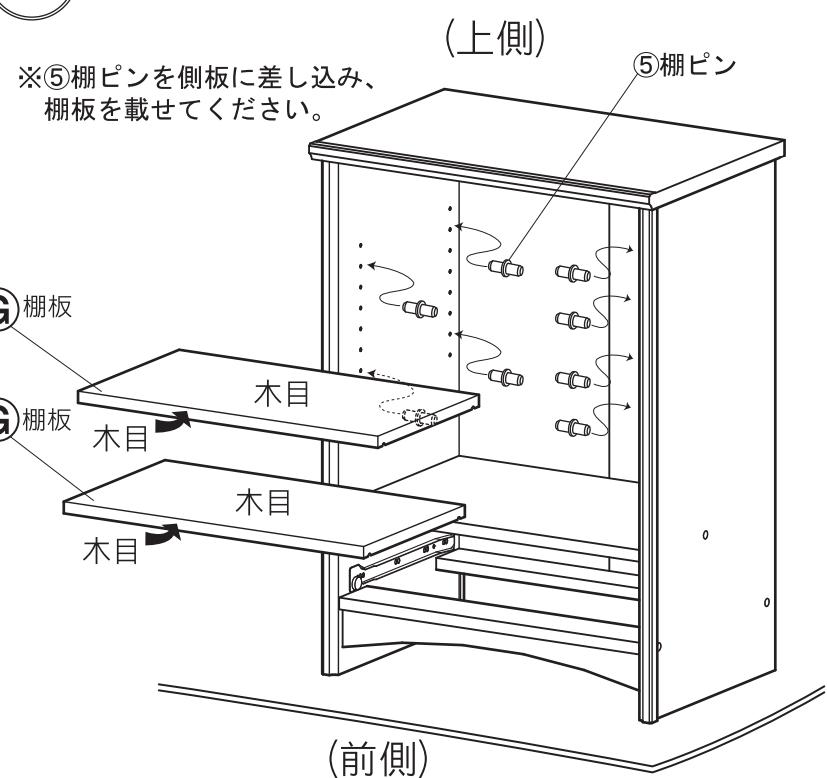
7 天板の組み立て



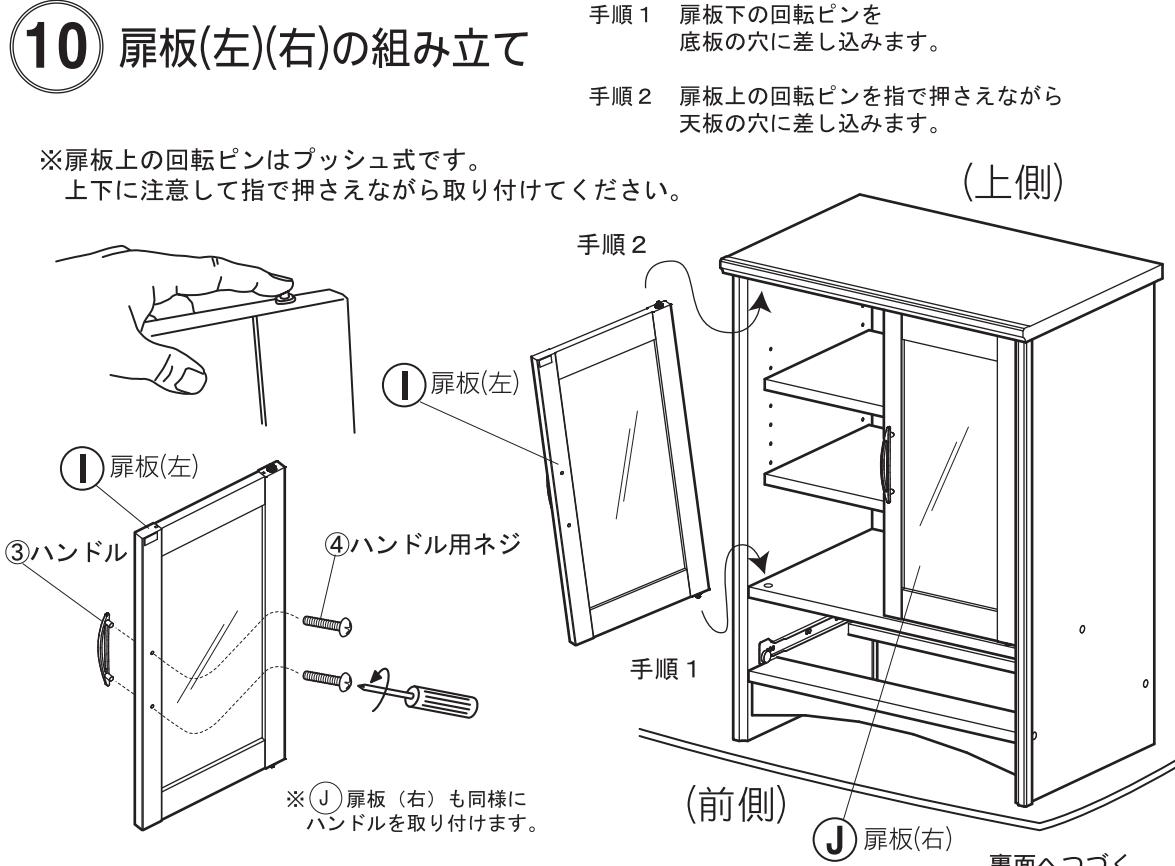
8 裏板ストップバーの取り付け



9 棚板の組み立て



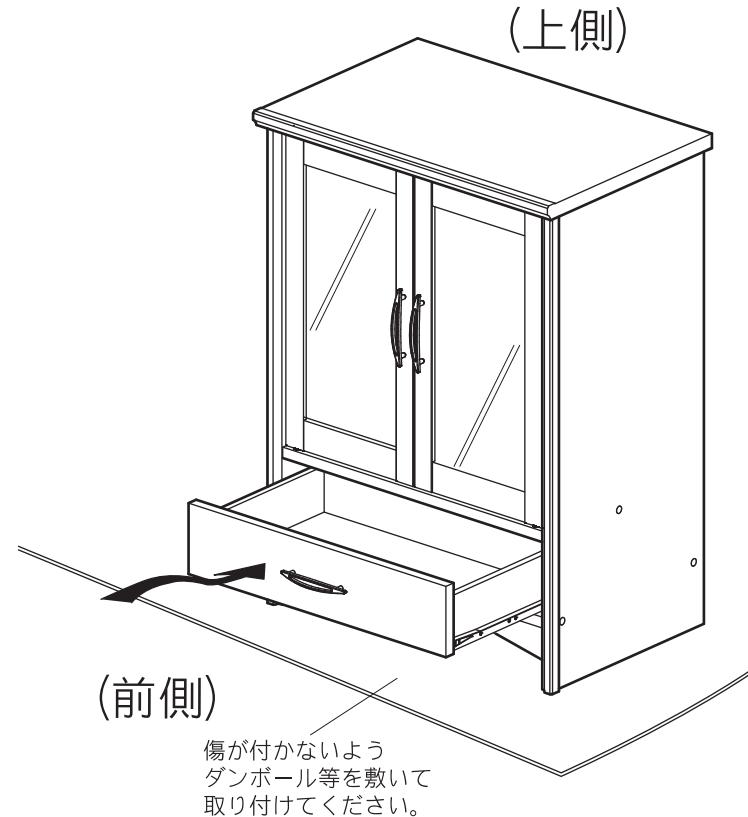
10 扉板(左)(右)の組み立て





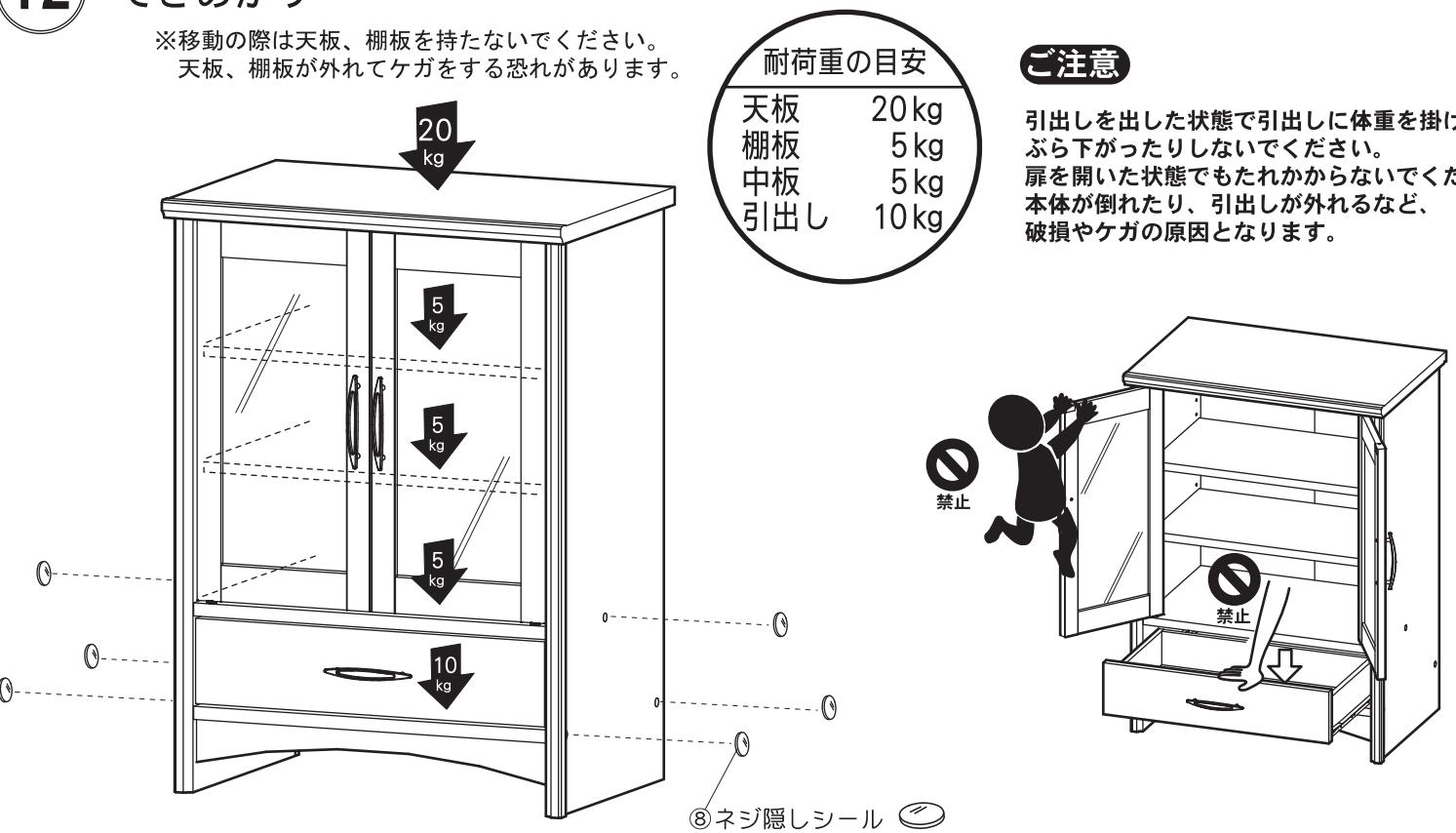
11 引出しのセット

工程 ① で組み立てた引出しを本体にセットします。



12 できあがり

※移動の際は天板、棚板を持たないでください。
天板、棚板が外れてケガをする恐れがあります。



ありがとうございました。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

家具の置き方

- ①地震などで家具が倒れケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。
- ②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり(10cm位が望ましい)部屋の換気をしてください。
- ③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。
- ④家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。倒れてケガをする事があります。
- ⑤木材の接着剤等(ホルムアルデヒド)が残っている家具で人によってはアレルギー症状をおこすことがありますので、換気を充分にして取り除くようにしてください。
- ⑥取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。
- ⑦家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかりと持って運んでください。
- ⑧フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

ご使用にあたって

- ⑨引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。
- ⑩引き出しがついている場合、これをいっぱいに引出すと抜け落ちてケガをする事があります。
- ⑪キャスター(移動用小車)付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

保守・点検

- ⑫チョウバシや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれ、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたらしめなおしてください。
- ⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。